

ミニディスクロージャー誌

第83期 営業の中間ご報告

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで

地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行

ごあいさつ

皆さまには、平素より筑邦銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、平成18年9月中間期の業績や取り組みなどをまとめた「ミニディスクロージャー誌/第83期営業の中間ご報告」を作成いたしました。本誌を通じて、私どもに対するご理解をより深めていただければ幸いに存じます。

さて、金融機関を取り巻く経営環境は、お客さまのニーズが多様化・高度化する一方で、各種の制度改正や規制緩和が実施されるなど、益々激しさを増しております。

このような中、当行は本年4月より「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」を目指して、「中期経営計画2006」に取り組んでおります。

当中期経営計画では、持続的な収益力の強化をはかりつつ、地域の皆さまに対して円滑な資金供給と質の高い金融サービスのご提供に努め、お客さまのさらなる利便性の向上をはかることとしております。

また、「法令等遵守」、「リスク管理」、「内部統制の充実」などの経営管理態勢をさらに強化し、お客さま、株主の皆さまに安心してお取引いただけるよう努めてまいります。

今後とも、より一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。



平成18年12月

頭 取 山下 洋

目次

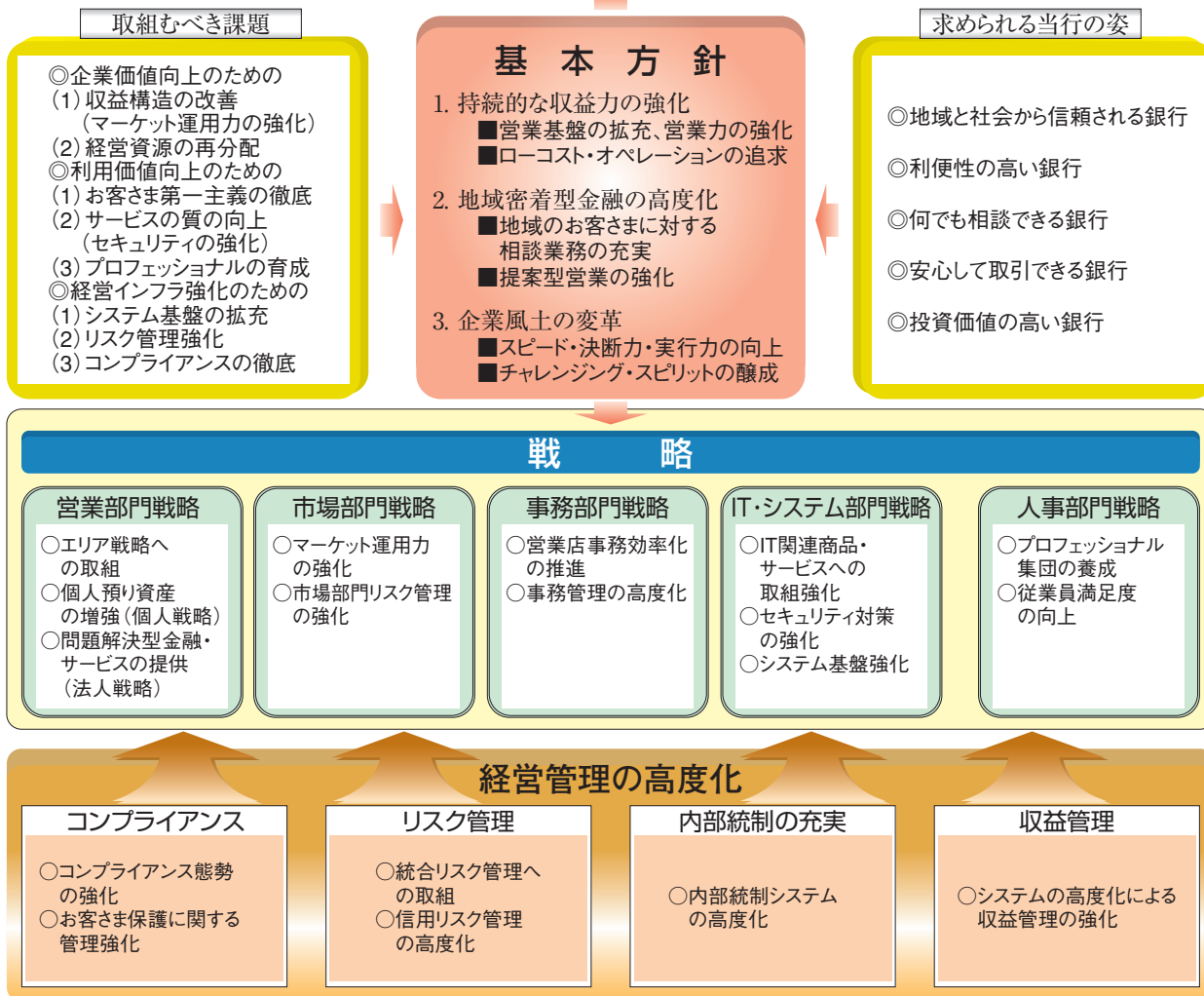
	頁		頁
ごあいさつ	1	地域経済の活性化／社会貢献活動	13
経営方針	2	商品／サービスのご案内	15
決算の概況	3	店舗／店舗外現金自動設備のご案内	17
損益、資産・負債		個人情報の保護	19
財務のご報告	5	お客さまへの大切なお知らせ	20
当行の健全性	7	役員／株式の状況	21
トピックス	9	株式のご案内	22
地域貢献	11		

中期経営計画2006

(2006年4月～2009年3月)

当行は、平成18年4月より「中期経営計画2006」を推進しております。
『地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行』を目指して、本計画に掲げた諸施策を着実に実施してまいります。

目指すべき当行の姿 地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行

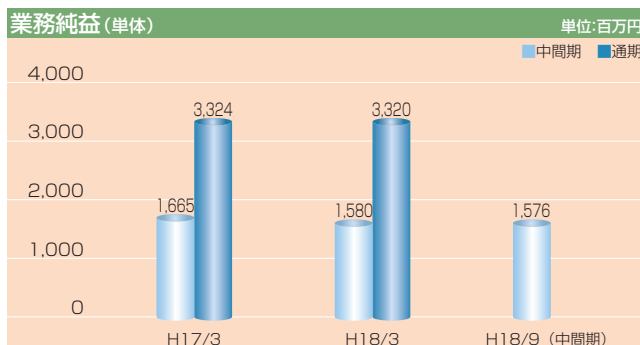


決算の概況

損益

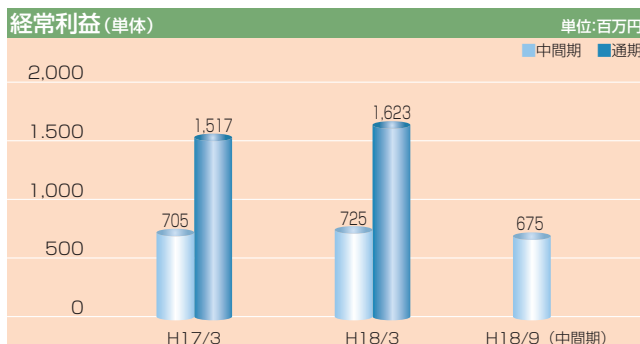
業務純益

資金利益は、市場金利の上昇などにより、有価証券利息を中心に増加しましたが、営業経費が増加したことなどから、業務純益は前年同期比4百万円減少し、15億76百万円となりました。



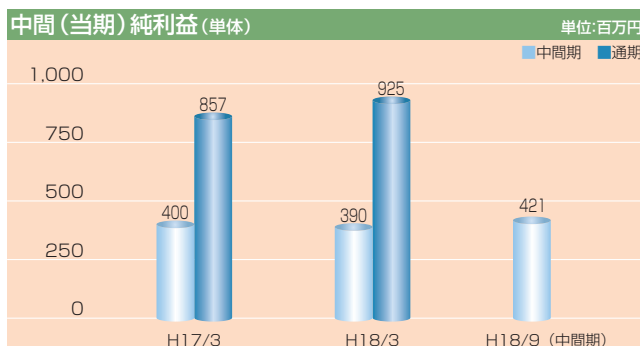
経常利益

不良債権処理額は減少したものの、株式等償却が増加したことなどから、経常利益は前年同期比50百万円減少し、6億75百万円となりました。



中間(当期)純利益

中間純利益は、固定資産の減損損失がなくなったことなどから前年同期比31百万円増加して4億21百万円となりました。



●収益の用語解説

- 1.業務純益とは** 銀行の利益を見る上での重要な指標で、預金・貸出金等銀行本来の業務から生まれた利益。一般企業の「営業利益」に相当します。
- 2.経常利益とは** 業務純益に貸出金償却等の臨時損益を加減算したものです。
- 3.当期純利益とは** 経常利益に特別損益と税金を加減算したもので、銀行が決算期間中に得た最終利益です。

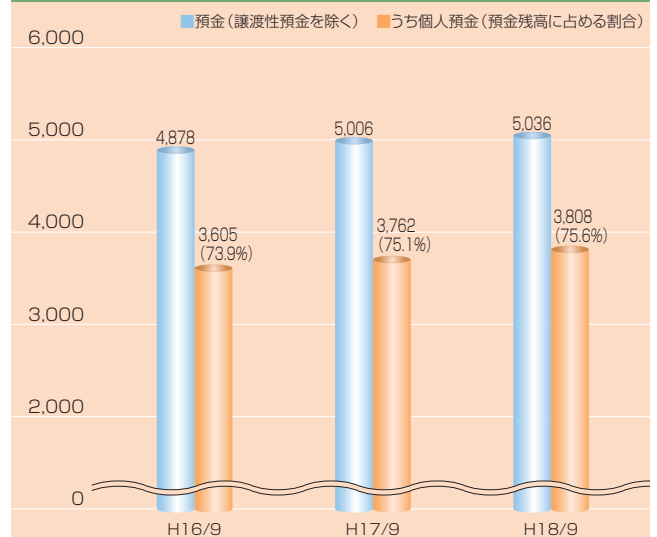
資産・負債

預金

預金は、資金調達のコアとなる個人預金が順調に増加したことなどから前年同期末比30億円増加して5,036億円となりました。

預金の推移(単体)

単位:億円

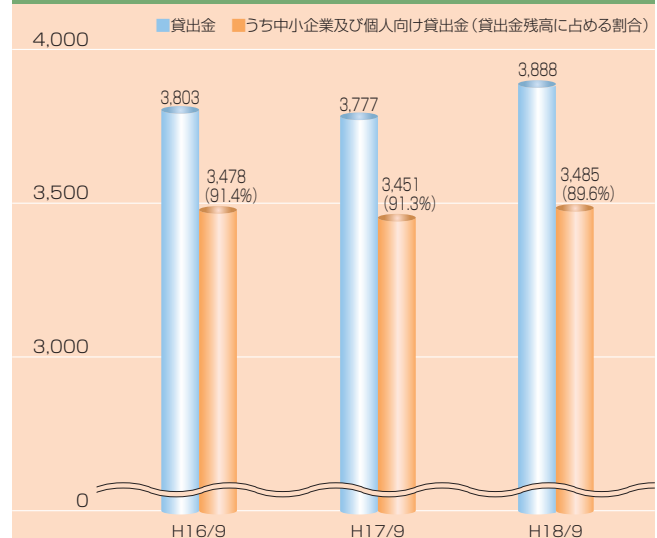


貸出金

貸出金は、地元中小企業を中心とした新規取引の拡大や個人のお客さまの住宅ローンなどの資金ニーズにお応えするために積極的な営業活動に努めた結果、前年同期末比111億円増加して、3,888億円となりました。

貸出金の推移(単体)

単位:億円



財務のご報告(連結)

第83期中 中間連結貸借対照表 (単位:百万円)
(平成18年9月30日現在)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	36,592
買入金銭債権	73
商品有価証券	283
有価証券	119,609
貸出金	384,344
外国為替	373
その他資産	5,524
有形固定資産	17,040
無形固定資産	1,661
繰延税金資産	2,250
支払承諾見返	9,640
貸倒引当金	△7,909
資産の部合計	569,484
(負債の部)	
預金	502,149
譲渡性預金	9,350
借入金	6,006
外国為替	0
その他負債	3,637
退職給付引当金	1,704
再評価に係る繰延税金負債	1,813
支払承諾	9,640
負債の部合計	534,302
(純資産の部)	
資本金	8,000
資本剰余金	5,759
利益剰余金	13,502
自己株式	△102
株主資本合計	27,159
その他有価証券評価差額金	3,761
土地再評価差額金	2,201
評価・換算差額等合計	5,963
少数株主持分	2,060
純資産の部合計	35,182
負債及び純資産の部合計	569,484

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第83期中 中間連結損益計算書 (単位:百万円)
(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

科目	金額
経常収益	8,855
資金運用収益	5,224
(うち貸出金利息)	(4,454)
(うち有価証券利息配当金)	(737)
役務取引等収益	992
その他業務収益	2,330
その他経常収益	308
経常費用	8,070
資金調達費用	200
(うち預金利息)	(141)
役務取引等費用	339
その他業務費用	2,337
営業経費	4,014
その他経常費用	1,178
経常利益	785
特別利益	0
特別損失	5
税金等調整前中間純利益	780
法人税、住民税及び事業税	705
法人税等調整額	△409
少数株主利益	60
中間純利益	424

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第83期中 中間連結株主資本等変動計算書 (単位:百万円)

(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
直前連結会計年度末残高	8,000	5,759	13,232	△97	26,894	4,334	2,201	6,536	2,006	35,437
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△154		△154					△154
中間純利益			424		424					424
自己株式の取得				△5	△5					△5
自己株式の処分				0	0					0
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△573	—	△573	53	△520
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	269	△4	265	△573	—	△573	53	△254
中間連結会計期間末残高	8,000	5,759	13,502	△102	27,159	3,761	2,201	5,963	2,060	35,182

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務のご報告(単体)

第83期中 中間貸借対照表 (単位：百万円)

(平成18年9月30日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	35,700	預金	503,675
買入金銭債権	73	譲渡性預金	9,350
商品有価証券	283	外国為替	0
有価証券	119,547	その他負債	1,695
貸出金	388,882	退職給付引当金	1,690
外国為替	373	再評価に係る繰延税金負債	1,813
その他資産	1,556	支払承諾	9,640
有形固定資産	9,323	負債の部合計	527,865
無形固定資産	763	(純資産の部)	
繰延税金資産	1,975	資本金	8,000
支払承諾見返	9,640	資本剰余金	5,759
貸倒引当金	△7,358	資本準備金	5,759
		利益剰余金	13,264
		利益準備金	2,724
		その他利益剰余金	10,540
		別途積立金	9,500
		繰越利益剰余金	1,040
		自己株式	△91
		株主資本合計	26,933
		その他有価証券評価差額金	3,760
		土地再評価差額金	2,201
		評価・換算差額等合計	5,962
		純資産の部合計	32,895
資産の部合計	560,760	負債及び純資産の部合計	560,760

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第83期中 中間損益計算書 (単位：百万円)

(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

科目	金額
経常収益	6,504
資金運用収益	5,256
(うち貸出金利息)	(4,486)
(うち有価証券利息配当金)	(736)
役務取引等収益	947
その他業務収益	20
その他経常収益	280
経常費用	5,829
資金調達費用	143
(うち預金利息)	(141)
役務取引等費用	384
その他業務費用	33
営業経費	4,146
その他経常費用	1,120
経常利益	675
特別利益	0
特別損失	5
税引前中間純利益	670
法人税、住民税及び事業税	639
法人税等調整額	△389
中間純利益	421

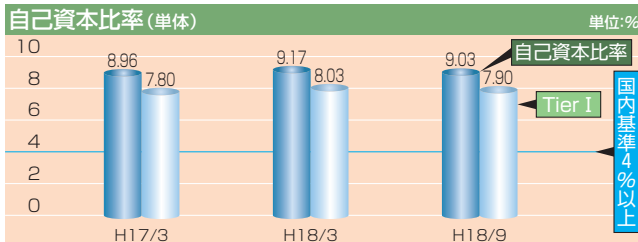
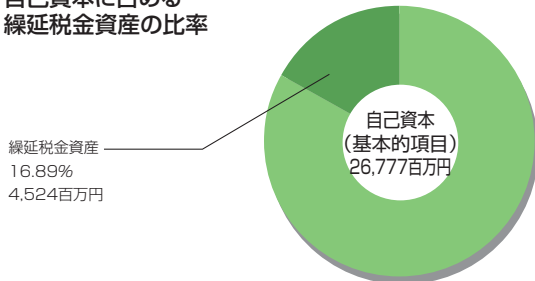
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当行の健全性

自己資本比率（国内基準4%以上）

平成18年9月末の自己資本比率は、国内基準を上回る9.03%となり、健全性を見る上で特に重要だと言われているTier I比率（中核的自己資本比率）も7.90%と高い水準にあります。また自己資本に計上している繰延税金資産の比率は、基本的項目（Tier I）の16.89%と低い水準になっています。

自己資本に占める繰延税金資産の比率



●自己資本比率の用語解説

- 1.自己資本比率とは** 銀行の貸出等総資産に対する自己資本額の割合です。この比率が高いほど不良債権等に対する備えが充実していることを示すため、銀行の健全性を表す重要指標の一つになっています。なお、当行のように海外に営業拠点を持たない銀行は、国内基準（4%）を維持することが義務づけられています。
- 2.Tier I比率とは** 資本金や利益剰余金などの基本的項目（Tier I）のみから算出される自己資本比率です。
- 3.繰延税金資産とは** 会計上は今期に払わなくてよい税金についての「前払い」額を、資産として計上したもの。会計上の費用（または収益）と税法上の損金（または益金）の認識時期の違いによる「一時差異等」を税効果会計によって調整することで生じます。

格付け

当行は、格付けについて公正で権威ある日本格付研究所からA-格付を取得しており、安全性について高い評価を受けております。（平成18年2月13日現在）

●格付けの用語解説

格付けとは 一般的に企業が発行する債券や銀行預金の元金・利息支払いの安全度を示す指標で、このランクが上位に位置するほど安全性が高いとされています。
※ A AからBまでの格付け記号には同一等級内での相対的位置を示すものとしてプラス（+）もしくはマイナス（-）の符号による区分があり、一般的にBBB（-）以上が「投資適格等級」といわれています。

有価証券評価損益

有価証券の評価損益は、株式市況の好転等により前年同期末比で株式が2億74百万円増加したものの、市場金利の上昇により債券は8億14百万円減少しました。この結果、評価益と評価損を通算した評価益は63億9百万円となりました。

有価証券（その他有価証券で時価のあるもの）の評価損益（単体） 単位:百万円

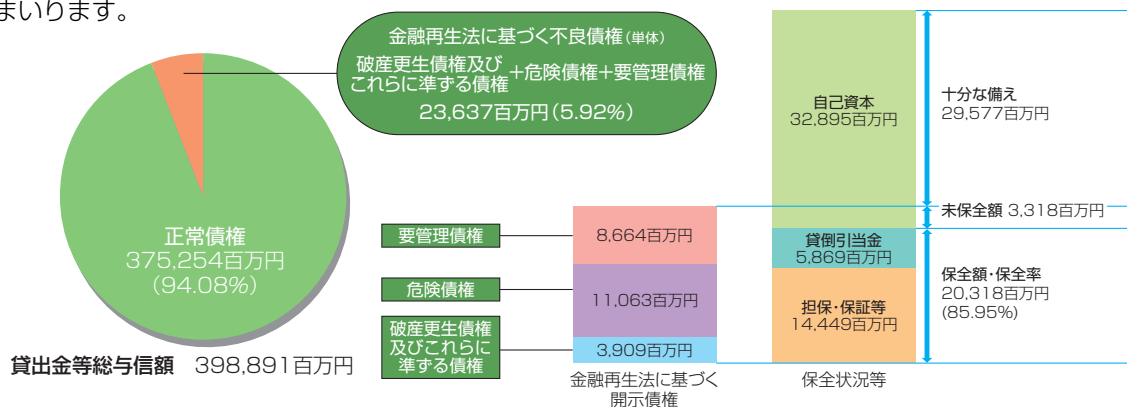
	評価損益	評価益	評価損
株式	6,467	6,683	215
債券	△321	269	590
外国証券	△19	3	23
その他	183	217	34
合計	6,309	7,173	863

不良債権

金融再生法に基づく貸出金等の総与信額は3,988億91百万円となり、そのうち回収に懸念のない正常債権は3,752億54百万円で94.08%を占めております。

一方、不良債権は236億37百万円（総与信の5.92%）となり、前年同期末の238億67百万円（総与信の6.16%）に比べ2億30百万円減少しました。また、この不良債権の85.95%（203億18百万円）は、担保・保証や引当金で保全されています。残りの33億18百万円につきましては、お取引先の経営状態から直ちに引当を要するものではありませんが、仮に貸倒が発生したとしても、当行の自己資本は328億95百万円あり備えは十分で、当行の財務内容の健全性をご理解いただけるものと存じます。

今後も皆さま方の資金需要にお応えしながらも、審査・信用リスク管理を徹底して、貸出債権等の健全性確保に努めてまいります。



●金融再生法開示債権の保全状況 (単体)

単位：百万円

平成18年9月30日	破産更生債権等	危険債権	要管理債権	合計
開示債権額 (A)	3,909	11,063	8,664	23,637
担保・保証等による保全額 (B)	2,740	7,191	4,517	14,449
対象債権に対する貸倒引当金 (C)	1,169	3,871	827	5,869
保全額 (D) = (B) + (C)	3,909	11,063	5,345	20,318
開示額に対する保全率 $\frac{(D)}{(A)}$	100.00%	100.00%	61.69%	85.95%
担保・保証等による保全がない額 (E) = (A) - (B)	1,169	3,871	4,146	9,188
引当率 $\frac{(C)}{(E)}$	100.00%	100.00%	19.96%	63.88%

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

●不良債権の用語解説

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは** 破産、会社更生、再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
- 危険債権とは** 債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権。
- 要管理債権とは** 3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。
- 正常債権とは** 債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権。

トピックス

農林漁業金融公庫福岡支店との

業務協力に関する覚書の締結 (平成18年6月)

農林漁業および食品関連産業分野への取組を強化することを目的として、農林漁業金融公庫福岡支店と「業務協力に関する覚書」を締結しました。

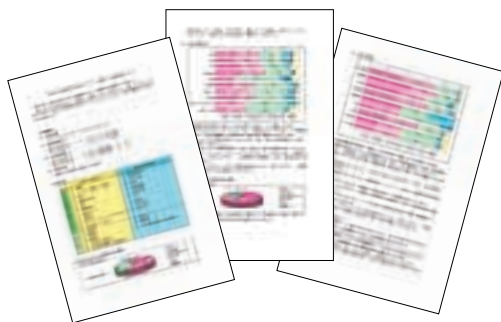
この覚書の締結により、同公庫との情報交換や合同訪問を行うなど、農林水産業者の皆さまのニーズに積極的にお応えすることによって、地場産業の育成、地域経済の活性化に貢献してまいります。

「お客さま満足度アンケート調査」の結果公表 (平成18年6月)

当行では、地域の皆さまに、より満足していただけるよう「お客さま満足度アンケート調査」を実施いたしました。今回お聞かせいただいたお客さまの声は、貴重なご意見として今後の事業運営の参考とさせていただきます。順次改善努力してまいります。

なお、調査結果および改善項目については、当行ホームページに掲載しています。

当行ホームページ (<http://www.chikugin.co.jp/>)



久留米広域商談会開催 (平成18年7月)

当行、佐賀銀行および十八銀行の三行が共同で平成17年3月に設立した、「北部九州ビジネスマッチング協議会」は、久留米市との共同で「久留米広域商談会」を開催しました。

商談会は、地場中小製造業に対する受注機会の拡大や、製造業の企業誘致の促進など地域産業の活性化を図ることを目的として継続して開催しており、今回は、自動車関連企業など発注企業が32社、受注企業が111社参加し、数多くの商談が行われました。



三行システム共同化 (平成18年8月)

当行、佐賀銀行および十八銀行の三行は、平成17年5月に次期基幹系システムの共同化について基本合意し、日本ユニシス株式会社のオープン系システム「Bank Vision」の採用を内定しておりましたが、このたび同社の次期基幹系システムを使用した共同アウトソーシングサービスを利用する「最終合意書」を締結いたしました。

今後、三行および同社の協力体制のもと、コスト削減をはかるとともに、安全で効率的なシステムの構築および本番移行に向けて各種の準備を行ってまいります。

無料法律相談会の開催 (平成18年9月)

当行は、地域に密着した金融機関としてのサービスの一環として、無料の「法律相談会」を本年9月より毎月開催しています。

相談会開催場所は、本店営業部、吉井支店、日田支店、八女支店、筑後支店の5ヶ店で、本店営業部は毎月開催。吉井支店、日田支店、八女支店、筑後支店については、巡回して4ヶ店のうちのいずれか1ヶ店にて毎月開催しております。

ご相談の申込みは最寄の当行本支店で受付いたします。



福祉医療機構と協調融資の覚書締結 (平成18年9月)

特別養護老人ホームなどの介護関連施設整備事業を予定する社会福祉法人に対し、円滑に資金をご融資することを目的として独立行政法人福祉医療機構と「社会福祉事業施設に対する貸付に係る覚書」を締結しました。

「ちくぎん子育て支援ローン」の取扱い開始 (平成18年10月)

当行は、小学校入学前のお子さまを養育されている「子育て家庭」(妊娠中の方を含みます。)をサポートするため、「ちくぎん子育て支援ローン」の取扱いを開始いたしました。

このローンは、子育てに関する費用や育児休業中の生活資金にご利用いただけます。



当行は、福岡県の「子育て応援宣言企業」に登録しております。

「日本SME格付け」取得取次ぎ業務の開始 (平成18年10月)

格付け機関「スタンダード&プアーズ社」と「日本リスク・データ・バンク株式会社」が共同開発した、国内の未上場の中堅・中小企業を対象とした格付けサービス「日本SME格付け」の取得取次ぎ業務を開始いたしました。

これにより「格付けを取得し、対外信用力を高めることで資金調達が多様化・取引先の拡大・知名度の向上・人材採用の促進等を図りたい」という中堅・中小企業の皆さまのニーズにお応えいたします。

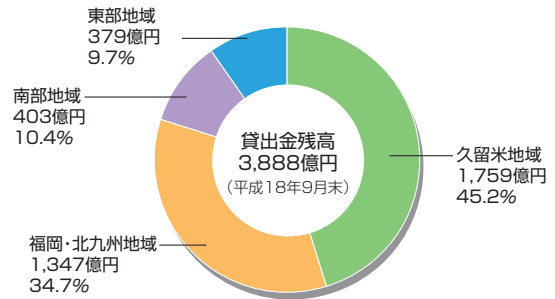
※SME…中堅・中小企業層

地域貢献

融資の状況

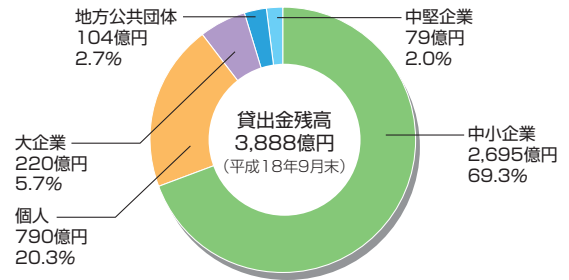
地域別貸出金残高、構成比率

当行が地域のお客さまからお預かりした大切な預金は、そのほとんどを地域の企業や個人の方々への貸出に向けており、「地域の資金は地域のために」という当行創立の趣旨を堅持し、地域金融機関の使命を果たしております。



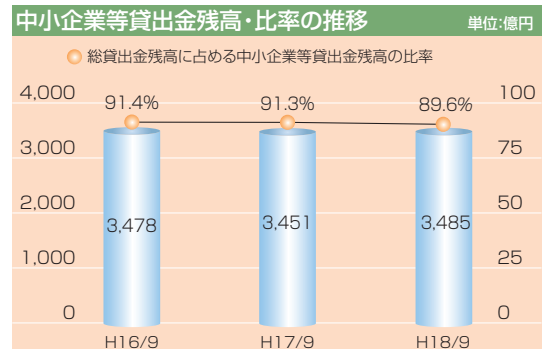
中小企業等貸出金残高、構成比率

当行は創業時より地域の中小企業や個人の方を中心とした貸出を行っており、今後もこの方針を変更することなく、お客さまのニーズを的確につかみ、必要とされる資金・金融サービス・各種金融情報をタイムリーに提供してまいります。



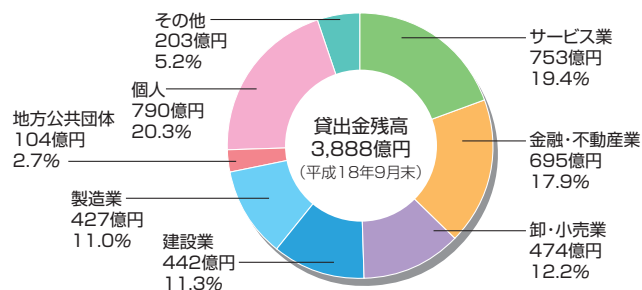
中小企業等貸出金残高・比率の推移

中小企業及び個人の方々に対する貸出金の残高は、前年同期比34億円増加し、3,485億円となりました。総貸出金残高に占める中小企業等貸出金残高の割合は、89.6%（中小企業69.3%、個人20.3%）と高い割合を維持しています。



業種別貸出金残高、構成比率

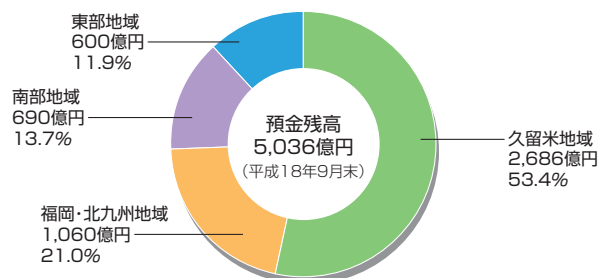
当行は、リスク管理の面等から地方公共団体や個人以外では一定の業種に偏ることなく各業種に概ね均等に貸出を行っております。



預金・預り資産の状況

地域別預金残高、構成比率

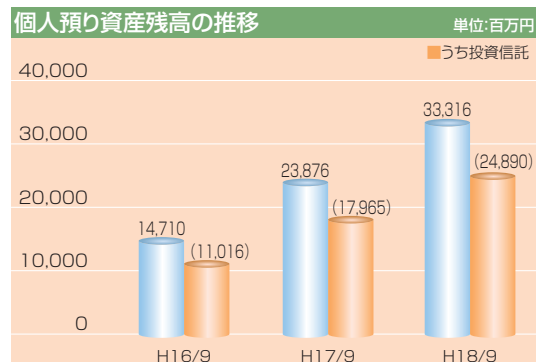
当行は、地域に根差した金融機関として、創立以来地域の皆さまからのご信頼をいただき、預金は個人預金を中心に順調に推移しております。今後もお客様のニーズにあった魅力ある金融商品の提供に努めてまいります。



個人預り資産の推移

当行は、お客様の多様化する資金運用ニーズにお応えする投資信託や国債を取扱っております。低金利状況が長期化する中で資産運用が多様化していることにより、個人預り資産は投資信託を中心に前年同期末比94億40百万円増加し、333億16百万円となりました。

※個人預り資産＝投資信託、個人年金保険、外貨預金、公共債の合計



事業再生・中小企業金融の円滑化

地域経済の活性化に向けて、中小企業への円滑な資金供給や経営改善支援、企業再生などに積極的に取り組んでいます。

1. 創業・新事業支援機能等の強化

「北部九州地区産業クラスターサポート金融会議」、「福岡県バイオ産業拠点推進会議」、「(社)九州ニュービジネス協議会」などに積極的に参画するとともに、政府系金融機関等と協調し、産学官連携事業に積極的に取り組んでいます。

また、小規模事業者の創業・起業支援では、久留米市の「新規開業資金審査会」のメンバーとして7回の審議に参加し、13先、48百万円の事業資金融資を実施しました。

2. 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

①中小企業に対するコンサルティング機能の強化
金融機関では全国初となった(社)中小企業診断協会福岡県支部との業務提携により、中小企業診断士と連携して地域企業の経営改善および企業再生支援を推進しております。特に無料経営相談会は、平成16年4月から平成18年9月までに29回開催し、延べ146社のお取引先にご利用いただきました。

この経営相談会は、毎月第3木曜日に本店で開催していますが、お取引先のご都合を考慮し個別出張相談も受付しており、ご好評をいただいております。

②ビジネスマッチング情報提供機能の強化
当行、佐賀銀行、十八銀行が地域産業の活性化を図る目的で平成17年3月に共同で設立した「北部九州ビジネスマッチング協議会」は、更なる情報提供の推進のために久留米市、中小企業基盤整備機構、(株)久留米ビジネスプラザと協定書を締結しました。特に、本年7月には久留米市との共催により、同ビジネスマッチング協議会最大規模の商談会「久留米広域商談会」を開催しました。商談会には、自動車関連部品を中心とした発注先企業32社、受注先企業111社と多数の企業が参加し、多くの商談が行われました。

3. 事業再生に向けた積極的な取り組み

要注意先債権等の健全債権化については、平成17年4月から平成18年9月までの経営改善支援取組み先224先のうち45先の債務者区分がランクアップしました。

引き続き中小企業再生支援協議会や(社)中小企業診断協会福岡県支部および外部コンサルタント会社等の活用を通じ、地域の事業再生に積極的に取り組んでまいります。

4. 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等

①CRD(中小企業信用リスクデータベース)を利用した福岡県等との提携商品「元気フクオカ資金」、保証会社各社・各地商工会議所との提携商品「ちくぎんビジネスローン」、「ちくぎんサポートローン」、当行独自商品「ちくぎんクイックローン」等を引き続き積極的に推進しております。

②事業価値に着目した融資手法の開発など、地域取引先企業の資金調達手段の多様化に取り組んでまいります。

経営理念に基づき地域社会への社会貢献活動に取り組んでいます

当行は、「良き企業市民」としての社会的責任を果たすため、その一環として様々な社会貢献活動を展開しています。

環境保全・美化活動

①古紙リサイクル活動の推進
平成16年3月に久留米市の古紙リサイクル奨励制度に登録し、ゴミ減量の一環として古紙のリサイクルを推進しております。

②全行員一斉「地域貢献清掃活動」の実施

当行の創立50周年を機に、全行員一体となって「地域社会へのご奉仕」を実践するため、平成14年10月より毎月1回、全行員による店舗周辺の道路や公園等のボランティア清掃活動を行っています。



③美化運動への参加

地域の皆さまとともに、「都心部道路美化キャンペーン」、「筑後川河川敷美化ノーポイ運動」等に毎年積極的に参加し、地域と一体となった活動を続けています。



青少年の健全な育成を願って

「ちくぎん杯少年サッカー大会」の開催

この大会は、サッカーを通して青少年の心と体の健全な育成を願って、平成5年から毎年4月、久留米市安武町の筑後大堰グラウンドにて開催しており、年々充実した大会となっています。

平成18年度の大会には、久留米市内14チームと福岡県内および近県からの招待18チームの合わせて32チーム、小学生570余名の参加があり、熱戦が繰り広げられました。



地域の講演会への講師の派遣

地域の学校やロータリークラブ・公民館等で開催される会議や講演会で、当行役職員が経済や金融等の話題について解説し、皆さまのお役に立てればと思っております。



地域行事への積極参加

当行は、毎年「くるめ水の祭典」などの地域イベントに役職員が積極的に参加し、地域の皆さまとの心と心のふれあいを大切にしております。



「小さな親切運動」の推進

昭和58年7月、くるめ「小さな親切」運動の会発足と同時に役職員が会員となり、今日まで小さな親切の実践に取り組んでまいりました。また、平成5年4月から当行本店内に同運動の会久留米支部の事務局を設置し、当行の会長が同支部の会長を務めさせていただいております。

各種講演会の開催

地域の皆さまに対する情報提供の一環として「福岡政庁先生チャリティ講演会」・「経済財政白書講演会」・「九州経済白書説明会」等を毎年開催し、ご好評をいただいております。



商品／サービスのご案内

個人の皆さま向けローン商品

個人のお客さまの、より豊かで充実した明日のために、ライフステージに合わせた各種ローンを取りそろえております。

種 類		ご融資金額	ご返済期間	特 色
カードローン	My ポ ケ ッ ト	90万円以内	1年（自動更新）	極度額の範囲内で自由にお借入れができます。
	エースカードローン	300万円以内	1年（自動更新）	極度額の範囲内で自由にお借入れができます。
	ミニカードローン	50万円以内	3年（自動更新）	極度額の範囲内で自由にお借入れ、ご返済ができます。
目的型ローン	マイカーローン	500万円以内	8年以内	車の購入や車検費用等のローンです。
	教育ローン	500万円以内	10年 6か月以内	在学期間中は返済を据置できます。
	子育て支援ローン	50万円以内	5年以内	子育てに関する費用や育児休業中の生活資金にご利用いただけます。
住宅ローン	住まいる住宅ローン	6,000万円以内	35年以内	変動金利型、固定金利選択型をお選びいただけます。 ※3大疾病保障特約付住宅ローンも取扱いたしております。



事業者の皆さま向け融資商品

地元企業や個人事業主の皆さまの資金ニーズに積極的にお応えするため、さまざまな商品を取りそろえております。

種 類		ご融資金額	ご返済期間	特 色	担保等
事業者用ローン	事業者カードローン	有担保は、1,000万円以内 無担保は、500万円以内	2年（自動更新）	限度内で繰り返し利用できます。	保証協会
	タイムリーローン	1億2千万円以内	2年（自動更新）	同上	同上
	ビジネスローン	5,000万円以内	3年以内	法人または個人事業主の方が対象となります。	不要
	サポートローン	1,000万円以内	5年以内	スピード審査でスピード回答、無担保・第三者保証人不要で事業性資金をご融資いたします。	オリックス(株)
	クイックローン	5,000万円以内	1年以内	スピード回答、無担保でご融資、事業性資金にご利用いただけます。	不要
	介護ビジネスローン	運転資金 500万円以内 設備資金 1000万円以内	運転資金 5年以内 設備資金 10年以内	介護サービス提供事業者向けのローンです。	不動産等



インターネットサービス

いつでもラクラク、簡単アクセス！

【個人のお客さま】

インターネット・モバイルバンキング（ちくぎんCnet）
パソコンまたは携帯電話から残高照会や振込がご利用いただけます。



会社のパソコンが筑邦銀行の窓口！

【法人・個人事業主のお客さま】

インターネットバンキング（ちくぎんビジネスweb）
オフィスにしながら、残高照会や振込がご利用いただけます。



※ご利用にはインターネットへの接続とご契約が必要です。

ご相談サービス

「金融のホームドクター」を目指している当行は、各種相談会の開催、相談コーナー等の充実に努めております。

(平成18年9月末日現在)

種 類	内 容
ちくぎん 年金相談会	平日にじっくりご相談を承れるように毎月第3水曜日に本店営業部で「年金相談会」を開催いたしております。年金に関するさまざまなご相談を専門の相談員がわかりやすくご説明いたします。
ちくぎん 経営相談会	経営改善、経営革新などに前向きに取り組んでおられる経営者の方々の事業の順調な発展、成長を支援するために中小企業診断士が経営の診断助言を行います。
ちくぎん 法律相談会	地域に密着した金融機関としてのサービスの一環として、無料の「法律相談会」を開催いたしております。専門の弁護士がわかりやすくていねいにお応えします。
ちくぎん テレホンセンター	フリーダイヤルによるローンの仮申込、ご相談を受付けております。また、定期預金の満期のご案内も行っております。受付時間は午前9時～午後8時迄です。(土・日・祝日は除きます。) ☎ 0120-86-7980
ちくぎん ご相談コーナー	本店営業部で、夜8時までご融資（住宅ローン、事業資金）や資産運用（預金、投資信託、保険等）などのご相談を承っております。TEL 0942-32-5600



ご来店はゆっくり、ご相談はじっくりどうぞ。

ちくぎん相談コーナー

よる8時まで 本店営業部 平日時間延長

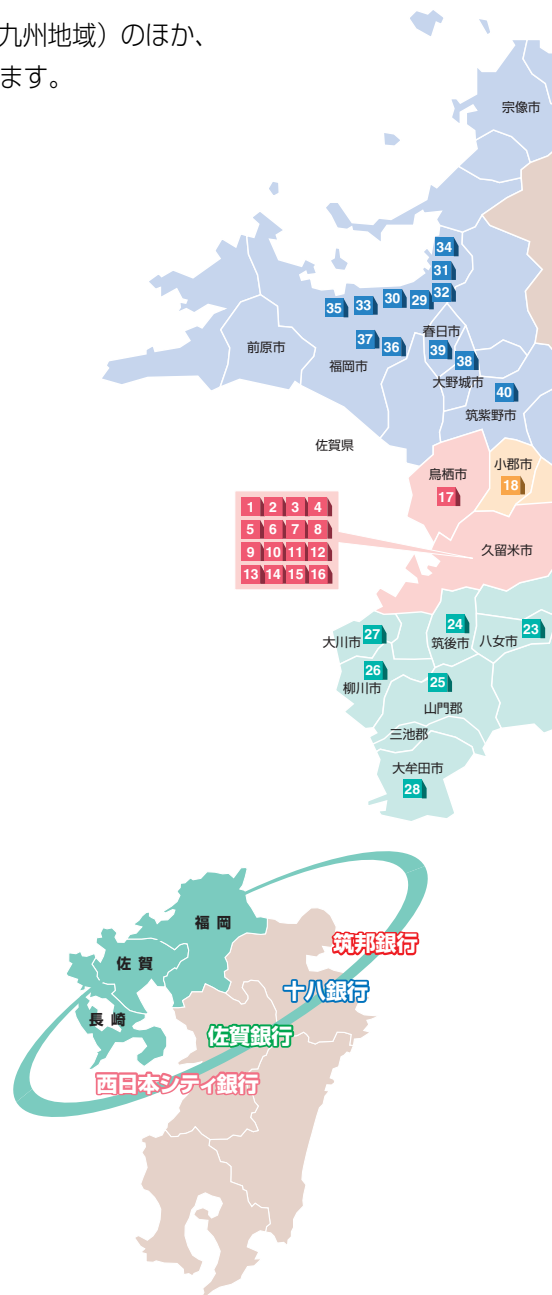
店舗／店舗外現金自動設備のご案内

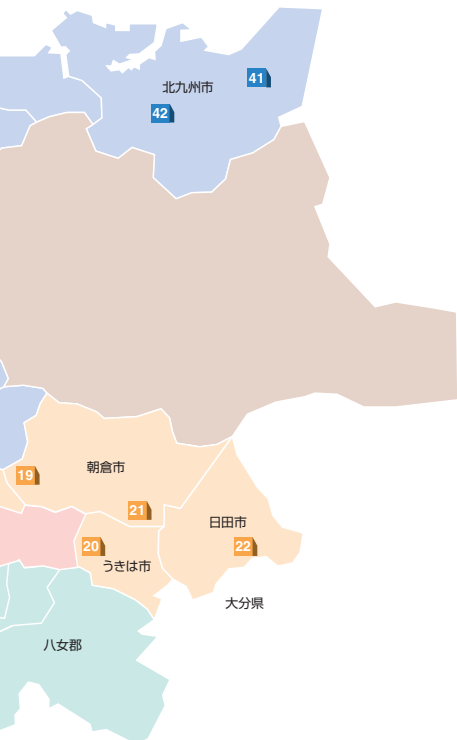
当行は、福岡県内（主として久留米地域、東部地域、南部地域、福岡・北九州地域）のほか、鳥栖市（佐賀県）及び日田市（大分県）とその近隣地域を営業基盤としています。

店舗

番号	店名	電話番号	番号	店名	電話番号
1	本店営業部	0942-32-5331	23	八女支店	0943-23-3141
2	中央町支店	0942-33-9116	24	筑後支店	0942-53-2188
3	国道通支店	0942-33-8471	25	瀬高支店	0944-62-2143
4	日吉町支店	0942-32-5261	26	柳川支店	0944-72-2131
5	くしはら支店	0942-39-3691	27	大川支店	0944-87-2134
6	荒木支店	0942-26-3161	28	大牟田支店	0944-52-5271
7	国分支店	0942-21-7131	29	福岡支店	092-521-1451
8	高良内支店	0942-43-2333	30	赤坂門支店	092-761-6404
9	長門石支店	0942-38-5731	31	博多支店	092-411-7231
10	津福支店	0942-34-6511	32	雑餉隈支店	092-581-2831
11	上津支店	0942-21-4681	33	西新町支店	092-821-3331
12	南町支店	0942-21-4311	34	名島支店	092-661-2811
13	十三部支店	0942-43-3911	35	姪浜支店	092-891-7561
14	東合川支店	0942-44-5500	36	警弥郷支店	092-572-3911
15	大善寺支店	0942-26-8971	37	中尾支店	092-561-2231
16	田主丸支店	0943-72-2171	38	大野支店	092-591-3111
17	鳥栖支店(佐賀県)	0942-83-2801	39	春日支店	092-501-1531
18	小郡支店	0942-73-3211	40	二日市支店	092-922-6661
19	甘木支店	0946-22-3920	41	北九州支店	093-531-3631
20	吉井支店	0943-75-2101	42	黒崎支店	093-621-0631
21	杷木支店	0946-62-1125			
22	日田支店(大分県)	0973-24-3171			

- 久留米地域
- 南部地域
- 東部地域
- 福岡・北九州地域





ATMネットワーク 4行で1,257か所2,594台のCD・ATMがご利用いただけます。(平成18年9月30日現在)

福岡・長崎・佐賀、隣接3県をネットワーク。よりワイドに、より便利に！

筑邦銀行のキャッシュカードをご利用のお客さまは、十八銀行、佐賀銀行、西日本シティ銀行のATM・CDからのお引出しも手数料無料でご利用いただけます。

無料でご利用いただける時間

平日8:45～18:00

※上記時間以外のご利用には、別途時間外手数料が必要となります。

店舗外現金自動設備

入	西鉄久留米駅出張所	入	タイホー大石町店出張所
入	西鉄久留米駅前出張所	入	久留米駐屯地出張所
入	一番街出張所	入	久留米市役所出張所（2か所）
入	久留米六角堂広場出張所	入	サザンモール出張所
入	久留米大学病院1階出張所	入	タイホー北野店出張所
	久留米大学医療センター出張所	入	ミスターマックス北茂安店出張所
	久留米大学商学部出張所		小郡市役所出張所
入	ハンドメーク上津店出張所	入	D&D大刀洗店出張所
入	スーパー大栄上津店出張所	入	タイホー甘木店出張所
	久留米工業大学出張所		朝倉市役所出張所
入	西鉄花畑駅出張所	入	ジャスコ甘木店出張所
入	聖マリア病院出張所		ゆめタウン八女出張所
入	タイホー西町店出張所		九州大谷短大出張所
入	タイホー津福店出張所		柳川市役所出張所
入	タイホー櫛原店出張所		大牟田市役所出張所
入	タイホー十三部店出張所		ソラリアプラザB1出張所
入	タイホー国分店出張所	入	明治屋太宰府店出張所
入	ゆめタウン久留米出張所		筑紫野市役所出張所
入	タイホー山川店出張所	入	ゆめタウン筑紫野出張所
入	タイホー野伏間店出張所		
入	西鉄ストア宮ノ陣店出張所		
入	JR久留米駅出張所		

入金できる設備

※CD・ATMのご利用時間及びサービス内容は、設置場所によって異なります。

土曜日・日曜日・祝日のご利用手数料

筑邦銀行のCD・ATMをご利用された場合

	筑邦銀行通帳・カードでの「お引き出し」	他行カードでの「お引き出し」
9:00～17:00	105円	210円
17:00～19:00		ご利用いただけません

※十八銀行、佐賀銀行、西日本シティ銀行のカードによる「お引き出し」は、当行カードによる「お引き出し」と同様の手数料となります。

※お振込予約の場合は、別途振込手数料が必要となります。

当行は、以下のとおり「個人情報保護宣言」を定め、行内態勢を整備し、お客さまからお預かりする個人情報の保護に努めております。

1. 個人情報保護への取組み

管理責任態勢を明確にし、組織的に継続的な改善に努めております。

また、全役職員に対し、個人情報保護の重要性について教育を実施し、日常業務における適正な取扱いを徹底しております。

2. 個人情報の取扱い

「個人情報保護法」及びその関連法令等を遵守し、業務上必要な範囲内で適正な手段により取得・利用しており、目的外の利用はいたしておりません。

また、保有する個人情報に関する開示・訂正・利用停止等の請求ならびに利用目的に関する通知等の請求に対応いたしております。

3. 個人情報の安全管理

個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えい等を防止するため、万全な組織的セキュリティ対策及び技術的なセキュリティ対策を行っております。

4. 個人情報の取扱いに関するお問い合わせ・苦情等のお申し出先

個人情報の取扱いに関するお問い合わせ・苦情等のお申し出については、営業店ならびに以下の窓口にて対応いたしております。

開示等の手続は、窓口のパンフレットまたは当行ホームページをご確認ください。

【ご質問・苦情等のお申し出先】

株式会社 筑邦銀行 本店 お客さまサービス室

久留米市諏訪野町2456番地の1

電話：0942-32-5343（直通） E-mail:chikuhou@kurume.ktarn.or.jp

（月曜日から金曜日 9：00～17：00 ただし、土・日・祝祭日等銀行休業日を除きます。）



お客さまへの大切なお知らせ

キャッシュカード犯罪被害にあわないために

キャッシュカードの 暗証番号は大丈夫ですか？

- 暗証番号を「生年月日」、「電話番号」、「住所の番地」や「自動車のナンバー」など他人に類推されやすい番号にすると大変危険です。もし、このような番号をご使用になっていて被害にあわれた場合、補償が減額されることがありますので、至急変更されるようお願いします。また、暗証番号をカードに書き込んだり、メモと一緒に保管していたりすると、被害にあわれた場合に補償を受けられませぬのでご注意ください。
- 暗証番号の変更はお取引店の窓口またはATMでお取扱いできます。
- 銀行員を装って電話をかけ、「暗証番号を変更する」などといって、暗証番号を聞きだそうとする犯罪がおきています。当行行員がお客さまに暗証番号をお聞きすることはありません。また、キャッシュカードはどんなに短時間であっても他人に預けたりするのは大変危険ですのでご注意ください。

通帳・印鑑・キャッシュカードの 保管にご注意ください！

- 通帳・印鑑・キャッシュカードは別々に、厳重に保管されるようお願いいたします。また、運転免許証や保険証などご本人であることを示す公的書類も通帳などとは別に保管されることをお勧めします。
- 万一、通帳・印鑑・キャッシュカードのいずれか一つでも紛失された場合は、すぐにお取引店へご連絡ください。早朝・夜間及び休日についてはATMサービスセンターへご連絡ください。

	受付時間帯	連絡先	連絡先電話番号
平日	8:45～18:00	お取引店またはお近くの筑邦銀行	店舗ネットワークをご覧ください。
	18:00～翌日8:45	ATMサービスセンター	0942-35-0037
土・日・祝	24時間受付		

- 通帳の記帳はできるだけ頻繁におこない、不審な取引がないかを確認してください。

偽造・盗難キャッシュカード対策への取組み

当行では偽造・盗難キャッシュカード等を不正利用した犯罪からお客さまのご預金をお守りするために様々な防止策を講じています。

対策項目	内容
のぞき見防止フィルム	CD・ATM機の操作画面にのぞき見防止フィルムを貼り、お客さまの後方や横から暗証番号等ののぞき込まれないように安全性を高めています。
後方チェックミラー	CD・ATM機の操作中にお客さまの後方がチェックできるようにミラーを取り付けております。
ATMでの「暗証番号の変更」・「利用限度額引下げ」機能	ATMでの一日あたりのご利用限度額※を200万円に引下げていますが、不正引出被害の全国的な増加を受け、お客さまのご預金保護のため、「暗証番号の変更」・「利用限度額引下げ」を、窓口でのお取扱いに加えて、お客さまが直接ATM機で行うことができるようにしています。
盗難・偽造等の24時間受付	カード等の盗難・偽造等の被害の未然防止や拡大防止をはかるために、お客さまからの緊急連絡を、24時間受付できるようにしました。

※ご利用限度額について

・ご利用限度額には当行のATMでのお引出し、お振込（振込資金の引落し）のほか、提携金融機関でのお引出し、デビットカードのご利用金額を含みます。

役員／株式の状況

役員氏名 (平成18年9月30日現在)

取締役会長 (代表取締役)	井手 和 英
取締役頭取 (代表取締役)	山 下 洋
取締役副頭取	佐藤 清一郎
常務取締役	空閑 重信
常務取締役	日隈 篤裕
取締役相談役	前川 博
取締役	相良 徹
取締役	田中 靖正
常勤監査役	吉田 茂
常勤監査役	豊島 安治
監査役	上野 寛
監査役	薬師寺 道明

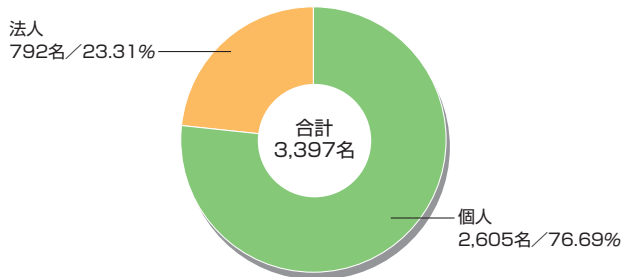
(注) 監査役上野寛、薬師寺道明の両名は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況 (平成18年9月30日現在)

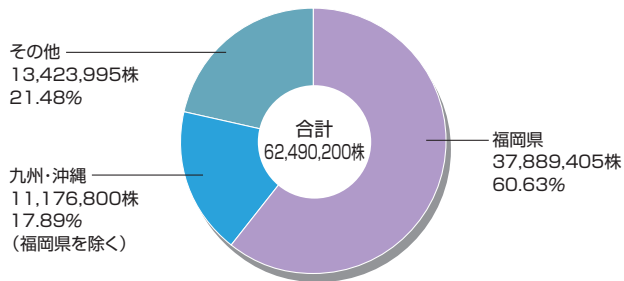
●株式の所有数別分布表

区分	株主数(名)	株主数比率(%)	株数(株)	株数比率(%)
1,000,000株以上	10	0.29	16,293,009	26.07
500,000株以上	8	0.23	5,450,331	8.72
100,000株以上	71	2.09	15,705,653	25.14
50,000株以上	76	2.24	4,988,165	7.98
10,000株以上	766	22.55	13,947,919	22.32
5,000株以上	506	14.90	3,171,338	5.08
1,000株以上	1,214	35.74	2,632,117	4.21
1,000株未満	746	21.96	301,668	0.48
合計	3,397	100.00	62,490,200	100.00

●株式の所有者別分布状況



●株式の地域別分布状況



株式のご案内

1.事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで
2.期末配当金の確定日	毎年3月31日
3.中間配当金の確定日	毎年9月30日
4.定時株主総会	毎決算日後3か月以内に開催
5.株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
6.同事務取扱場所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
7.連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ・各種お問い合わせ 0120-232-711（通話料無料） ・各種手続用紙のご請求 0120-244-479（通話料無料） ・ホームページアドレス http://www.tr.mufg.jp/
8.同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
9.上場証券取引所	証券会員制法人 福岡証券取引所
10.公告掲載紙	福岡市において発行する西日本新聞に掲載 決算公告につきましては、下記のホームページに掲載しております。 ・ホームページアドレス http://www.chikugin.co.jp/

●筑邦銀行の概要



設	立	……	昭和27年12月23日
総	資	産	…………… 5,607億円
預	金	・	譲渡性預金 …………… 5,130億円
貸	出	金	…………… 3,888億円
資	本	金	…………… 80億円
株	主	数	…………… 3,397名
従	業	員	数 …………… 593名
店	舗	数	…………… 42か店

(平成18年9月30日現在)



筑邦銀行総合企画部広報室
〒830-0037 久留米市諏訪野町2456-1
TEL (0942) 32-5331 (代)

<http://www.chikugin.co.jp/>